

平成23年度確かな学力向上のための具体的取組 **評価**

ねらい：確かな学力の向上を図る

「確かな学力」		○	平成23年度の評価指標と実践課題		学校評価 自己評価B
①知識・技能の習得				基礎学力 ・読解力の向上を目指した共通実践 ・南中ドリルの効果的な運用	
②思考力・判断力・表現力の育成					
③学習意欲・学習習慣					
「確かな授業力」		○	教師の研修		4 (4)
④生徒指導の機能を生かした学習指導				・表現力育成施策の実践 ・相互授業参観を通しての研修 ・指導と評価の一体化 ・終末・まとめに重点をおいた授業の構築	
			思いやりの心たくましい心 ・主体性の伸長 ・道徳学習の推進 ・進路選択の支援と情報提供 ・一人一人を生かす場の工夫	3 (4)	

共通実践事項	具体的な取組	達成状況	備考等(課題▲、成果○)
① 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> ●小・中の学習内容の連続性を踏まえた学習指導の実施 ・市「パワーアップの手引き」活用 ・小・中連携授業参観の実施 ・交流授業や各種研究会への積極的な参加 	() 昨年 ○ (○) ○ (○) ○ (○) ○ (○)	○小学校との授業参観や協議等を通して、学習への取組方や生徒指導等の情報交換ができ、小・中の連携が円滑に機能した。
② 「活用する力」を育てるための授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●活用する力、表現力の育成に効果的に機能する言語活動の内容検討と実践 ●言語活動の視点を生かした授業改善 ・学習指導案への言語活動内容の明示 ・相互授業参観を通しての研修 	○ ○ ○ ○	▲活用する力や表現力、言語活動については、学年や教科によって取組や定着に大きな差があるため確実に成果を上げる手立てを講じる必要がある。

(● 重要な課題であると考えられる具体的な取組)